

「使う側」と「送る側」をスルーで考え、定量的な省エネ改善を図るために



空気圧システムの省エネルギー

講座のねらい

**座学＋実習で、
大幅なエネルギー費削減のポイントを掴む**

エアーの省エネ対策といえば、空気圧縮機の消費電力を下げるための「エアーの消費量低減」「漏れ低減」「圧力を下げる」等が知られています。しかしそれらを個別に見て省エネ対策を検討すると、遅かれ早かれ壁にぶつかります。

本講座は、「消費側」と「供給側」をよく理解して改善策を講じるべきとの視点から、圧縮空気の作り方から送り方、使い方まで各局面におけるムダを見つけ、排除し、空気圧利用設備全体としてのエネルギー消費削減を達成していただくための講座です。

当日は講習会場の実機（インバータ圧縮機、7.5kw）を持ち込み「実習」を多く取り入れます。

カリキュラム

<座学>

1. 空気圧システムの省エネ概要
2. 消費・伝達の省エネポイント
3. 動力側の省エネポイント

<実習>

1. 漏れ：漏れ量測定、損失金額算定
2. ブロー：省エネ効果の活用、サイジングと消費量削減
3. 圧力損失：把握方法、定損失カプラ実例
4. 適正圧力：空気圧機器ごとの適正圧力設定と消費量比較
5. 計測機器：圧力測定、流量測定、電力測定等